

資料3

# 公共交通の利用促進の取組みについて

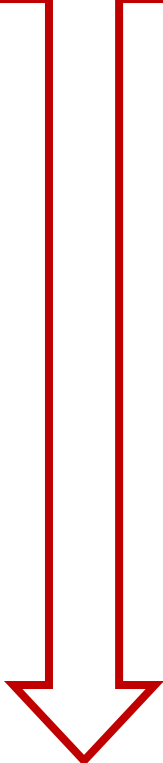
板橋区 都市整備部 都市計画課

# 1 社会環境の変化

【コロナ以降の外出や移動などに関する事象（主なもの）】

<u>2020年</u>	春	新型コロナウイルスの世界的な感染拡大
	4～5月	緊急事態宣言（東京都）⇒ <u>徹底した外出自粛</u> など
<u>2021年</u>	1～3月	緊急事態宣言（東京都）⇒ <u>不要不急の外出・移動の自粛</u> など
	4～6月	緊急事態宣言（東京都）⇒ //
	7～9月	緊急事態宣言（東京都）⇒ //
<u>2022年</u>	1～3月	まん延防止等重点措置等期間（東京都） ⇒ <u>不要不急の外出は自粛、混雑を避けて移動</u> など
<u>2023年</u>	5月	新型コロナウイルス感染症の5類移行
	夏	東京都心の猛暑日が過去最多 ⇒ 『熱中症警戒アラート』（環境省及び気象庁・2020年～） <u>「不要不急の外出は避け」などの呼びかけ・報道</u> など

日常生活での移動のほか  
業務・仕事での移動も  
大幅に減少



在宅ワークやオンライン会議の一般化、国土交通省や東京都の公共交通系部署の会議でもオンライン形式が浸透  
区役所の手続きも、オンライン申請などの電子化対応が大幅増加

# 1 社会環境の変化

## 【運輸業界の2024年問題】

○ 少子高齢化により、日本は、業種を問わず全体的に不足が継続中。

+

○ 令和6年4月から労働時間規制が強化、現在と同じ運行を維持するには、運転者の増員が必要。

(タクシー・ハイヤー運転者)

(トラック運転者)

(バス運転者)

令和6年4月~適用

東京都の助けを借りて、仕事を続けよう。

タクシー・ハイヤー運転者の改善基準告示が改正されます!

自動車運転者の労働時間等の基準が改正されます

日別の1か月の拘束時間	日別の1日の休息期間
現在(労務省) <b>299時間</b> 改正後 <b>288時間</b>	現在(労務省) 継続 <b>8時間</b> 改正後 継続 <b>11時間</b> を基本とし、継続 <b>9時間</b>

自動車運転の業務(ドライバー)に年960時間の上限規制が適用されます

令和6年4月~適用

東京都の助けを借りて、仕事を続けよう。

トラック運転者の改善基準告示が改正されます!

自動車運転者の労働時間等の基準が改正されます

1年の拘束時間	1か月の拘束時間	1日の休息期間
現在(労務省) <b>3,516時間</b> 改正後 原則: <b>3,300時間</b> 最大: <b>3,400時間</b>	現在(労務省) 原則: <b>293時間</b> 最大: <b>320時間</b> 改正後 原則: <b>284時間</b> 最大: <b>310時間</b>	現在(労務省) 継続 <b>8時間</b> 改正後 継続 <b>11時間</b> を基本とし、継続 <b>9時間</b>

自動車運転の業務(ドライバー)に年960時間の上限規制が適用されます

令和6年4月~適用

東京都の助けを借りて、仕事を続けよう。

バス運転者の改善基準告示が改正されます!

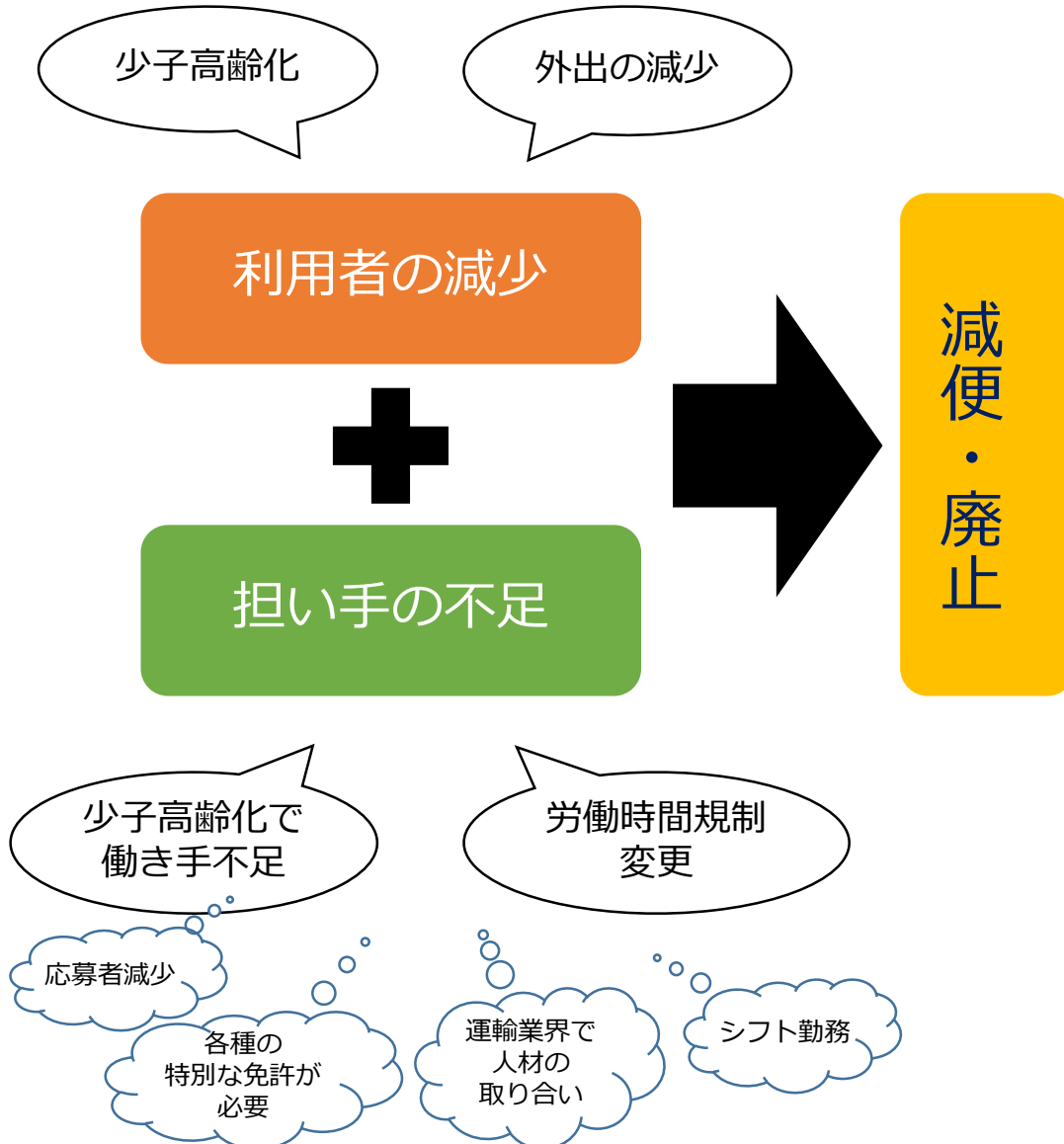
自動車運転者の労働時間等の基準が改正されます

1年の拘束時間	1か月の拘束時間	1日の休息期間
現在(労務省) 原則: <b>3,380時間</b> 最大: <b>3,484時間</b> 改正後 原則: <b>3,300時間</b> 最大: <b>3,400時間</b>	現在(労務省) 原則: <b>281時間</b> 最大: <b>309時間</b> 改正後 原則: <b>281時間</b> 最大: <b>294時間</b>	現在(労務省) 継続 <b>8時間</b> 改正後 継続 <b>11時間</b> を基本とし、継続 <b>9時間</b>

自動車運転の業務(ドライバー)に年960時間の上限規制が適用されます

⇒ 日本全国、都市・地方を問わず、共通の課題に直面している。

# 1 社会環境の変化



首都圏でも、公共交通の変化が目に見える形に。

## 鉄道（2023年の改正・1時間あたり運行本数）

◎東京メトロ有楽町線（東京地下鉄の公表資料）

平日昼間（新木場方面） 12本 → 10本

平日7時台（新木場方面）19本 → 17本

◎東武東上線（東武鉄道の公表資料）

平日7時30分～8時30分池袋駅着

24本 → 22本

## バス（2023年に東京近郊の事業者で報道されたもの）

◎多くの事業者で、減便が実施される

◎京浜急行バス（電車・バス車内に求人広告）

「来年4月から運転士が不足します」職員大募集！！

◎東急バス（乗務員等確保のため会社合併）

東急バス(株)が子会社(株)東急トランセを吸収合併し

乗務員採用や配置、その他事業運営効率化を図る

⇒ 京阪神地域での減便・廃止も数多く報道。

京浜急行バス  
公式ホームページ  
(2023年10月10日時点)

運転士はもとより、整備や旅客サービスなどの各職種の求人を、トップページで実施している。



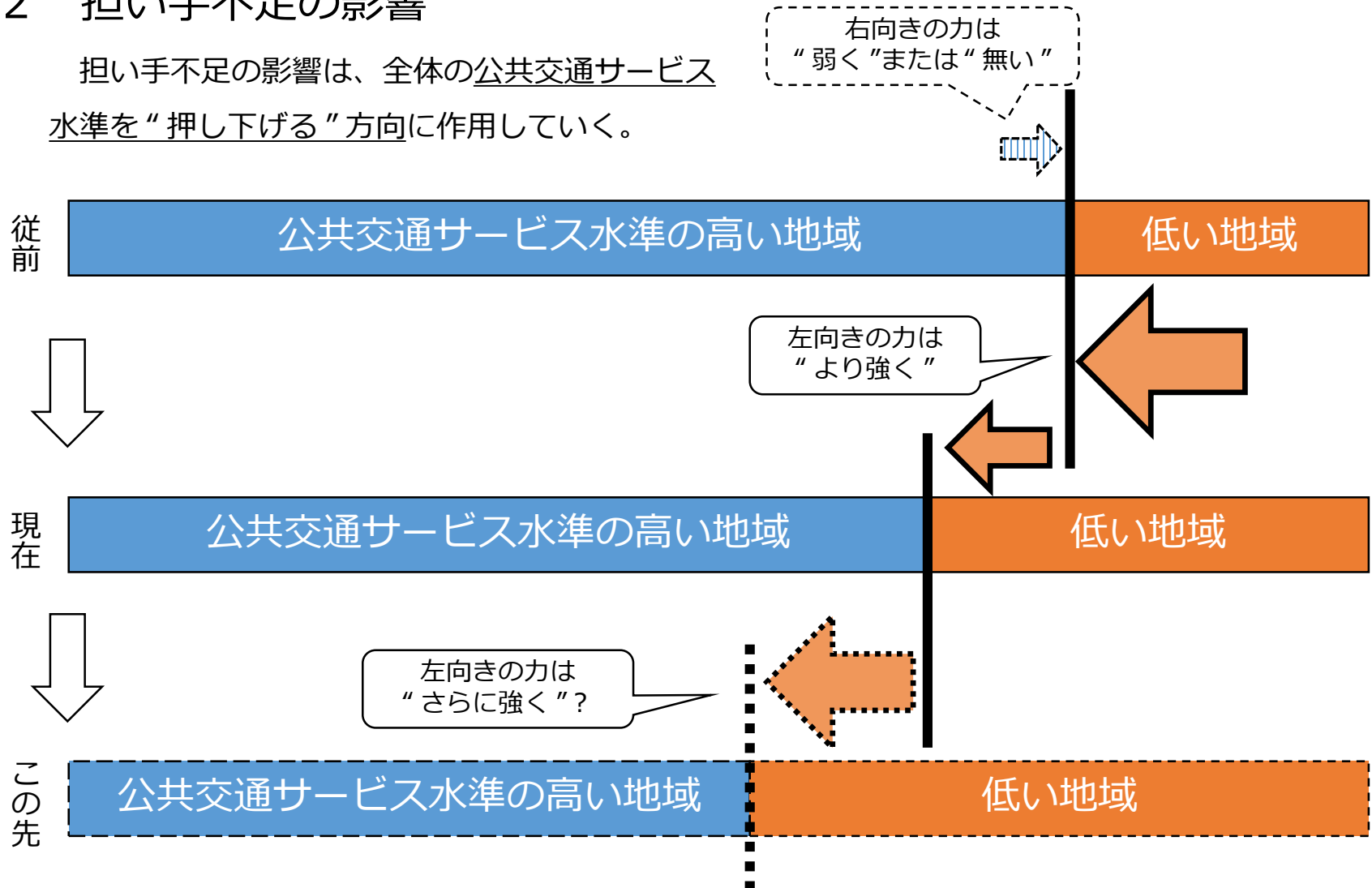
東急バス・東急トランセ  
公式ホームページ  
(2023年10月10日時点)

会社合併に向けた人材募集として、こちらも京浜急行バスと同様に、各職種の求人を実施。



## 2 担い手不足の影響

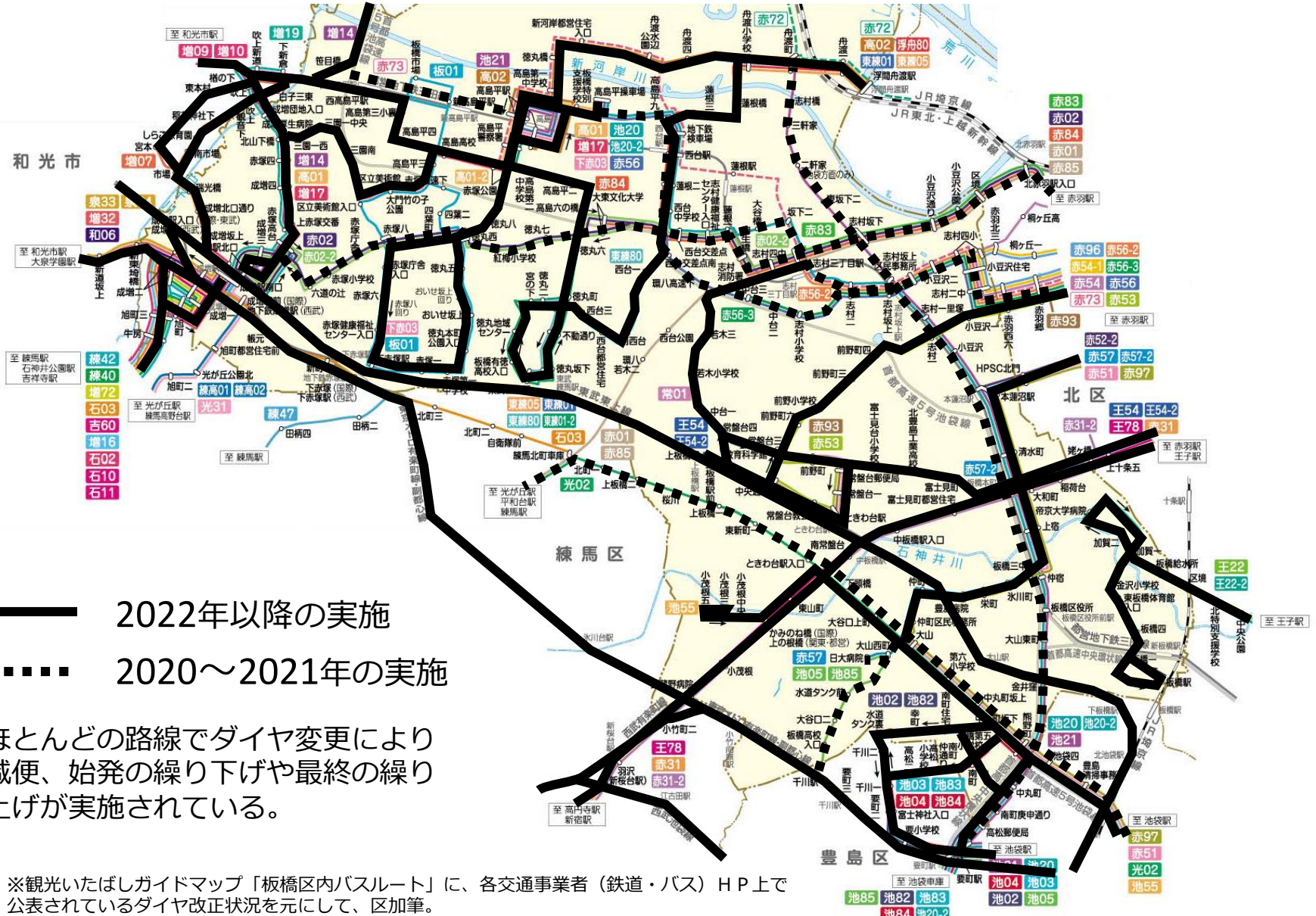
担い手不足の影響は、全体の公共交通サービス水準を“押し下げる”方向に作用していく。



この先も“左向き力”が弱まるとは考えられず、これまでと同じ認識や考えでは対応が困難に。

⇒ 限られた資源によるサービス供給となり、様々な需要に応えきれない時代が到来の予兆。

### 3 新型コロナウイルス感染拡大以降の鉄道・バスの減便等実施状況



## 4 利用促進の取組み

### ① 区職員向けの利用喚起

板橋区はISO14001を取得するなど、以前から環境対策についても積極的に取り組んでいます。

このことから、環境政策課と連携して、「公共交通の維持」と「二酸化炭素の排出削減」の両面から、鉄道やバスの利用を促すこととし、職員向けの冊子を作成して電子配布を実施しました。

各部署・職員から様々な反応がありましたが、山村地域や地方都市だけでなく『東京23区』でも公共交通が減少しつつあることや、今後もその流れは変わらないであろうことに対する驚きの声が複数あり、公共交通への理解が、少し深まったように感じられます。

令和5年9月

公共交通で  
便利に！おトクに！  
移動してみませんか？

公共交通機関を使ってください！

仕事の移動も  
電車とバスで！

- バス路線を調べよう！
- おトクに出かけよう！
- バス停QRを使ってみよう！

### 1 バス路線を調べよう！

路線図を確認しよう

Avanza Maps

板橋区の観光マップやバス路線図をダウンロードして  
画面に表示することができます(アプリです)！

アプリのダウンロードはこちら

使い方

①アプリを開き「ストア」をタップ → ②検索バーで「板橋区」を検索

③使用したいマップをタップしてダウンロード → ④「マイマップ」で地図を表示

観光いたばしガイドマップ

くらし観光課にて発行・配布している「観光いたばしガイドマップ」にて、区内のバス路線図を掲載しています。

### 2 おトクに出かけよう！

区内でおトクに移動！

1日の移動がはかばかになる特別な乗車券をご紹介します！

都営まるごときっぷ <使える路線> 700円  
都営地下鉄・都電・都営バス

都営三田線や都電荒川線、日暮里・舎人ライナーを1日使い放題！  
前売り券やPASMO券もごさいます！

こんな時におトク？ 「午前と午後に用事があって、都営三田線を使いたい！」  
初乗り180円 × 4回(2往復) = 720円 **20円おトク！**

国際興業バス一日IC乗車券 <使える路線> 700円  
国際興業バス

1日に何回バスに乗っても700円！国際興業バス全ての路線で使えます！  
都内のみならず、埼玉県でも使用できます！

こんな時におトク？ 「バスを乗り継いで買い物に行きたい！」  
運賃220円 × 4乗車(1往復) = 880円 **180円おトク！**

国際興業バスのおトクな定期券 国際興業バスの学生向け年間IC定期券！  
4月1日からの1年間使えます

ばすく〜る365 運賃220円区間でお乗込は「57,200円」  
通常の通学定期券よりも、年間で23,160円おトク！！

### 3 バス停QRを使ってみよう！

バスいつ来るんだろう…

国際興業バスのバス停に設置されている、二次元コードを読み込むと、  
乗りたいバスの接近状況をリアルタイムで確認することができます。

二次元コードを読み込むと

近くにいるよ！

問い合わせ：都市整備部 都市計画課 交通企画都市基盤係  
☎03-3579-2548



## 4 利用促進の取組み

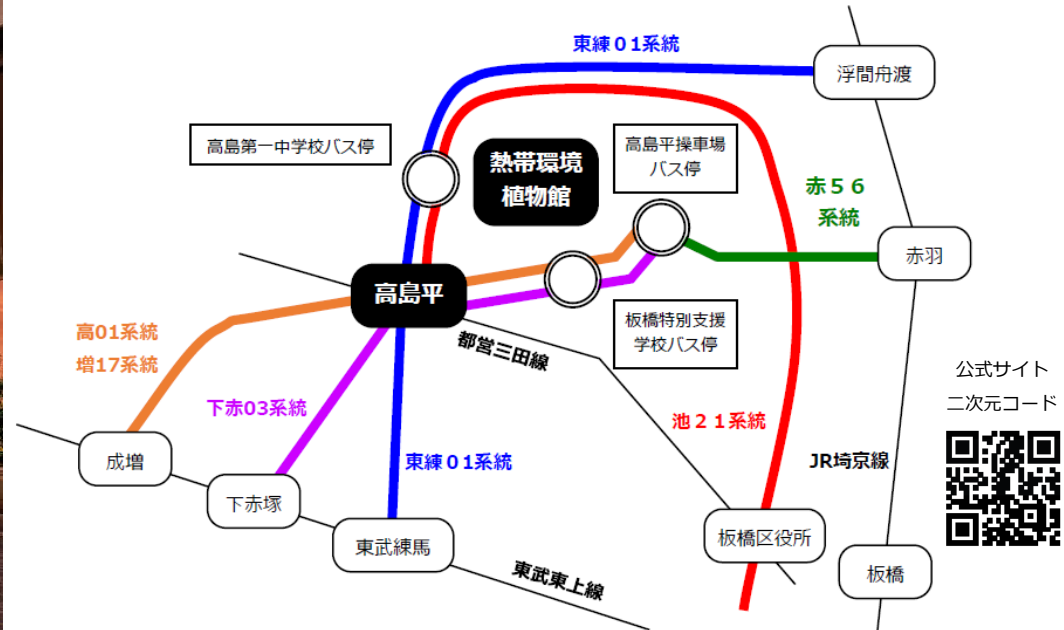
### ② 新たな外出目的との連携

東京都のスマートシティ・DX関係の補助制度を活用した事業と連携し、公共交通による移動を生み出す取組みをスタートさせました。



今回の事業は、高島平を中心に事業展開を図ることから、鉄道とバスによる交通ネットワークを活かして、来訪者の公共交通利用を促しています。

現在、交通事業者各社にご協力いただき、パンフレット配布、区の公式SNSアカウントからの情報発信に対して各社公式SNSでの沿線情報としてのフォローなどを実施しています。



イベントの詳細は公式サイトをご覧ください。 <https://ar-itabashi.jp>